

経営比較分析表（令和元年度決算）

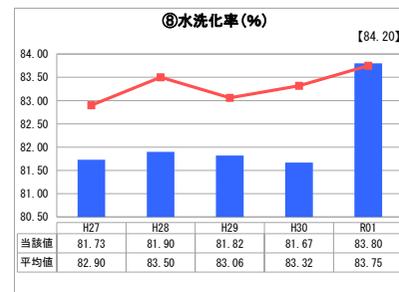
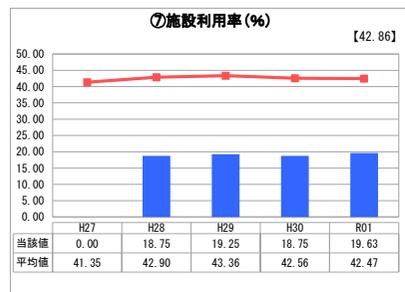
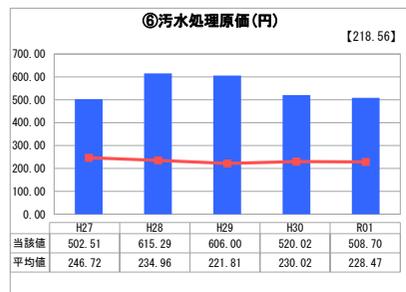
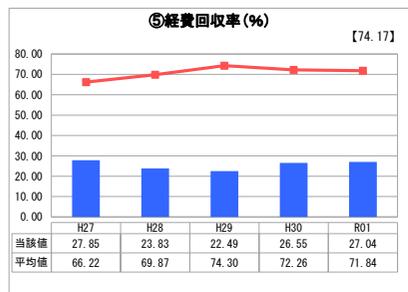
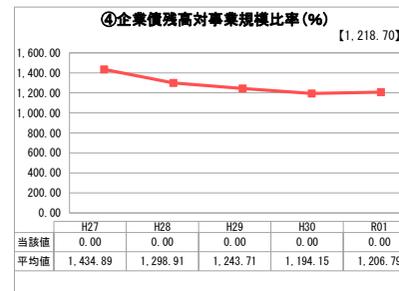
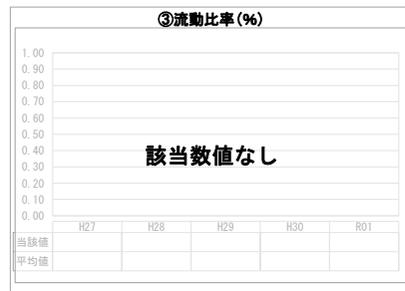
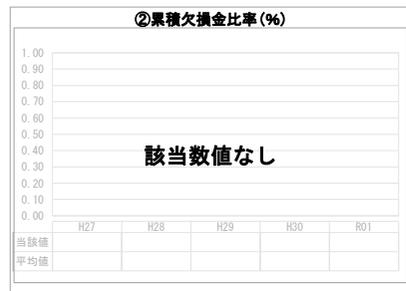
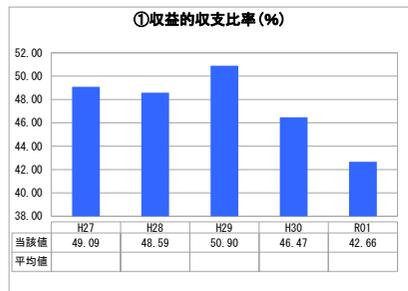
山形県 戸沢村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	13.09	95.00	3,190

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
4,460	261.31	17.07
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
568	0.45	1,262.22

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

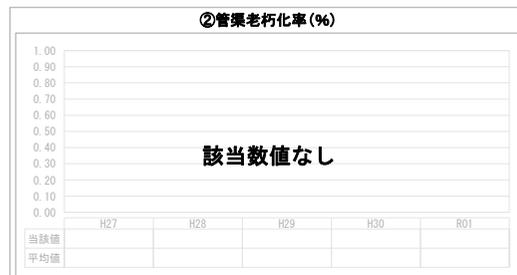
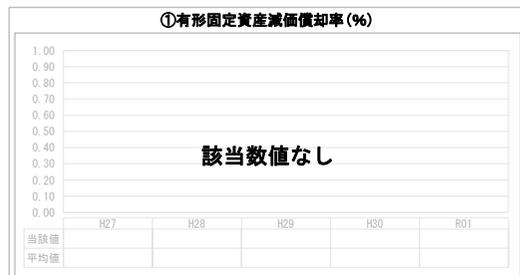
1. 経営の健全性・効率性について

- ・収益の収支比率について
料金算定については、遊減型料金方式となっており使用料の増加につれ従量料金が低減となります。継続人口が少ないことから、料金収入だけをもって維持管理費を賄うには至っていません。(R1年実績で使用料収入が歳入に占める割合は8.8%となっています。)
- ・企業債残高対事業規模率について
建設事業については概成しており、新たな企業債の発行はありません。
経費回収率、汚水処理原価、施設利用率について継続人口は前年459人から479人に増加したものの低位で推移しています。
維持管理費については、軽微な修繕しかなかったことで修繕費を抑えられた結果、汚水汚水処理原価については昨年度と同様に500円台前半で推移しています。
経費回収率についても数値のとりおろしこれまでの要因等により低位に留まっています。
- ・水洗化率について
率としては84.3%と好調ではありますが、高齢者のみ世帯の増加する中、新たな接続を期待できる状況にはありません。

2. 老朽化の状況について

- ・現在のところ耐用年数を経過した管渠については該当ありませんが、今後の課題として管渠の老朽化対策が必要となると考えられます。ストックマネジメント計画についてはH29年3月に策定した計画年度をR5年度までとしております。場合によっては機能診断等も検討・実施しながら対応したいと考えています。

2. 老朽化の状況



全体総括

従前から続く人口減少に加え、施設利用率は以前低く使用料金収入のみで維持管理費を賄うには至っておりません。
一般会計の繰入金により維持運営している状況にあります。(歳入に占める繰入金の割合は85.3%)
今後の老朽化対策の一つとして以前より新規加入者の新設手数料等を積立て、僅かながらも将来の負担に備えています。
そのほか、処理施設の日常管理については最上圏域7市町村で組織する共同管理組合に委ねております。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益の収支比率の類似団体平均等を表示していません。